

東北風景写真家協会会員向け会報「東風季報」第21号です。当会報は会の行事、活動計画、各種のお知らせ、撮影適所、撮影情報、撮影テクニックなどの記事を掲載しております。

東風季報

発行 東北風景写真家協会
〒980-0803 仙台市青葉区国分町 3-8-1
勾当台ビル1階 エーゼット・フォト内
Tel 022-722-3755, Fax 022-722-3766
編集 秋葉・進藤

秋の協会企画のご案内

猛烈な残暑が続いて紅葉の出来具合が気になりますが、今年も協会としての企画を竹内会長の基各担当幹事がいろいろ用意しました。是非記事をご覧ください、多くの会員のご参加をお待ちしております。ただし、参加人数に限度がありますのでご希望の企画がありましたらお早めにお申し込みください。

平成24年度第2回協会企画撮影会 美しき紅葉の立山連峰を撮ろう

昨年の10月にも立山の室 溶岩の大高原です。池塘群 堂山荘2泊しての撮影会を や高層層原の花の宝庫で 実施しましたが、その時は す。道路の上からや木道を 地震が発生、仙台の客が地 歩きながら撮影できます。 震を連れてきたのでは？と 旅行期間 平成24年 10月3日(水)～5日 (金)2泊3日
代金 49,800円
添乗員 同行なし
募集人員 35名(最少催 行人員30名)定員になり 次第締め切り。
食事条件 朝食2回・ 昼食1回・夕食2回
宿泊先 立山室山荘 (4～6名1室)
標高2450mの山岳リソ ートに連泊、便利です
集合場所 景区役所
駐車場 6時40分
仙台駅西口 7時20分
同行講師
竹内 正・丸山 慎一
お問い合わせ・お申込み
河北新報トラベルまで
TEL 022
211-6960
FAX 022
723 4672
営業時間 09:30～17:30

弥陀ヶ原 標高1600m から2000mにかけての 数に輝く星空撮影も可能
黄色、紅色、橙色に色を変 えていく様子は圧巻です。
お天気に恵まれば朝日や 夕日の撮影も美しく見られ ます。又夜は下界と違い無
お天気に恵まれば朝日や 夕日の撮影も美しく見られ ます。又夜は下界と違い無
お天気に恵まれば朝日や 夕日の撮影も美しく見られ ます。又夜は下界と違い無



第2回撮影実習セミナー

今年第2回撮影実習セミナーを春に引き続き紅葉の 台原森林公園で開催します
実施期日 11月14日(水)
集合時間 9時15分
地下鉄旭ヶ丘駅公園出口
撮影地 台原森林公園・ 仙台市科学博物館周辺
参加費 3,000円
料、PC機材等に充当
講師 竹内 正会長
募集人員 20名(フィル ム使用組、デジタルカメラ 組、合計での人数で定員に なり次第締切)
参加申込みは同封の撮影実 習セミナー案内用紙下部に ある申込書に必要事項記入ご 請求致します。

今年第2回撮影実習セミナーを春に引き続き紅葉の 台原森林公園で開催します
実施期日 11月14日(水)
集合時間 9時15分
地下鉄旭ヶ丘駅公園出口
撮影地 台原森林公園・ 仙台市科学博物館周辺
参加費 3,000円
料、PC機材等に充当
講師 竹内 正会長
募集人員 20名(フィル ム使用組、デジタルカメラ 組、合計での人数で定員に なり次第締切)
参加申込みは同封の撮影実 習セミナー案内用紙下部に ある申込書に必要事項記入ご 請求致します。

東日本大震災復興支援 チャリティーセミナーの開催案内

当協会では東日本大震災 復興に向け一歩一歩必死に努 めて被災、休止中の協会協 賛撮影イベントで会員の受 講生も多い、太平洋写真学 校・北上教室(当協会名誉 顧問・竹内敬信学長)の復 興支援事業として、チャリ ティーセミナーを企画しま した。
3月11日の地震に伴う大 津波により、石巻市北上地 区を含めた三陸沿岸地域一 帯は壊滅的な被害と多くの 方々が犠牲になりました。 現在はその悲しみを乗り越 越えて地域住民の方々は復 興に向けて一歩一歩必死に努 めて被災、休止中の協会協 賛撮影イベントで会員の受 講生も多い、太平洋写真学 校・北上教室(当協会名誉 顧問・竹内敬信学長)の復 興支援事業として、チャリ ティーセミナーを企画しま した。
日時 平成24年12月 1日(土)～2日(日)
一泊2日
集合場所 仙台駅西口午前8時
景区役所午前8時30分
場所 北上川河口、よし原
定員になり次第締切

清水哲朗先生をお迎えして 平成24年度第2回スライド&トークセミナー

今年度第2回目のセミナー エッグホール
をNHK教育テレビ「趣味悠々」講座で人気の清水哲朗先 生を講師にお呼びして企画し ました。
清水先生には翌日実施いた します当協会企画の東日本大 震災復興支援チャリティーセ ミナーにボランティア講師と してご参加いただきます。
東北のカメラマンも元気に 頑張っていることを知って頂 く上でも是非会員皆様には一 人でも多くご参加下さいませ ようお願い致します。
申し込み先 エーゼット・ フォト(協会事務局)
TEL 722-3755
FAX 722-3766
清水哲朗氏プロフィール
1975年神奈川県生まれ、日本写真芸術専門学校 卒、竹内敬信氏に3年間師 事後フリーで独立、作品発 表と各種執筆活動のほか、

今年度第2回目のセミナー エッグホール
をNHK教育テレビ「趣味悠々」講座で人気の清水哲朗先 生を講師にお呼びして企画し ました。
清水先生には翌日実施いた します当協会企画の東日本大 震災復興支援チャリティーセ ミナーにボランティア講師と してご参加いただきます。
東北のカメラマンも元気に 頑張っていることを知って頂 く上でも是非会員皆様には一 人でも多くご参加下さいませ ようお願い致します。
申し込み先 エーゼット・ フォト(協会事務局)
TEL 722-3755
FAX 722-3766
清水哲朗氏プロフィール
1975年神奈川県生まれ、日本写真芸術専門学校 卒、竹内敬信氏に3年間師 事後フリーで独立、作品発 表と各種執筆活動のほか、

第3回写真展 「美しい日本」結果報告

5月31日せんだいメディア ーツ5階ギャラリーbに協 会役員全員と写真展来場者約 100名ほど今回は少な かったのですが、大震災の 影響で延期になった各写真 クラブの展示会が毎週のよ うに集中していたことと震 災の影響があったと考えら れます。
今回は竹内名誉顧問、椎名 顧問を含め、55名の会員が 出展、全紙1点、大紙2 点、全紙3点、半切6点 の計97点でバランスのとれ た飾り付けを心掛けました。 6月1日から6日までの一 週間、1,445名の来場者 が増加、組織の認知、拡大 にも繋がりました。成果があり ます。

NHKTV趣味の講座、オリ ンパスデジタルカレッジ講 師、太平洋写真学校教授等を 歴任、モンゴルの大自然に魅 せられ取材を続け、その作品 は高く評価されています。

写真コンテスト 上位入選者
今号は該当者なし、写真雑誌 やコンテストに上位入賞した 方はお知らせ下さい。
新規入会会員紹介
宮城県仙台市 角田 宗夫
宮城県岩沼市 今野 芳亮
宮城県仙台市 星 達也
宮城県仙台市 名久井 馨
宮城県石巻市 武田 勅
宮城県仙台市 氏家 芳雄
宮城県富谷町 安住 守

次回写真展開催予定
今回の写真展では作品選 考や各種準備期間が桜の花 の撮影時期と重なり、竹内 会長他幹事が多忙を極めま した。次回は一年置き開催 するので、影響の少ない時期 を考慮した結果、2014 年9月中旬下旬が良いと の結論になりました。
場所はせんだいメディア ーツで、2013年4月 中が使用申込期間となりま すので予約を致します。会 員皆様もご準備願います。

今回の写真展では作品選 考や各種準備期間が桜の花 の撮影時期と重なり、竹内 会長他幹事が多忙を極めま した。次回は一年置き開催 するので、影響の少ない時期 を考慮した結果、2014 年9月中旬下旬が良いと の結論になりました。
場所はせんだいメディア ーツで、2013年4月 中が使用申込期間となりま すので予約を致します。会 員皆様もご準備願います。

十二湖・青池

青森県深浦町の十二湖は、平成の大合併で旧岩崎村が深浦町に吸収合併された経緯があり、「十二湖」という名称はあくまで呼び名で、存在する湖の数は、三十三のこと。

世界自然遺産白神山地の白神岳などが背後にあり、最も日本海に迫り、ブナ林はこれ等の湖沼を取り囲み、あたかもブナの茂みの中の湖と言える。

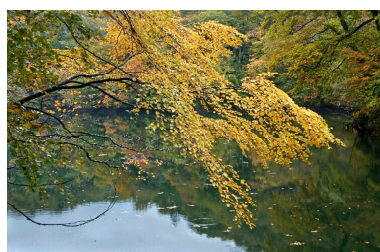
このような環境の中でひときわ輝いているのが「青池」である。地元のパンフレットによると、「この十二湖にたたえる水はすべて



青池



沸壺の池



鶏頭場の池

清水だが、青池の水は「群青色」に透き通っている。一条の陽光が差し込むと一段と鮮やかさを増しながら、あたりに生える木立の緑を幻想的に映し出し、まるでホログラフィーをみているような美しさだ」と説明している。

この「群青色」を辞書で調べてみると、「鮮やかな藍青色の鉱物性顔料でその成分は、アルミニウム、ナトリウム、カルシウム、珪酸、硫酸などからなる」とあった。私はこんな予備知識を持って、この青池を撮る。撮影場所が限られており、フレミングに工夫がほしい。

比較的近い範囲に多くの湖沼が点在しており、それぞれ特徴ある風景を自然林に囲まれ、紅葉も

見事である。五能線十二湖駅から弘南バスで、終点「奥十二湖」下車。マイカーもここまで入ることが出来る。有料駐車場もある。

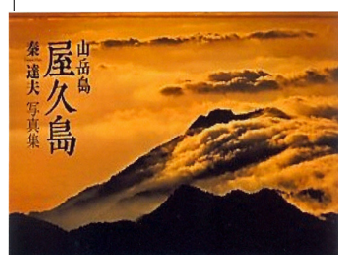
鶏頭場の池に沿って平坦な道をいくと約五〇〇メートルで青池に至る。

終わりに

自然の四季の移ろいは美しい。しかしこのうろいのは、足早で出会いのときから更に美しい風景へと変わりゆく。また、朝夕の太陽の輝きは一段と人の心をゆさぶる。いくら追い掛け走り回っても追いつけない。美しい移ろい自然です。会員の皆さん、健康で美しい自然を探索しようではありませんか。(小松金吾)

南の島では想像もできない厳しい原始の雪氷情景、歴史を刻む屋久杉の生死の歴史等、見る人を圧倒する迫力ある画面から秦氏の執念が感じとれ、出版直後から高く評価されている。

（株）日本写真企画 三五〇〇円（税込）



私は写真家を撮る気持ちで、いつも「写真を撮らせていただいている」と思っています。それは、写真の被写体にもそこに存在する意味が当然あるからです。自然の中のとなく淘汰は人間の力が到底及ばないもので、脈脈と続く自然の輪廻を感じます。だから、自然に逆らうような行動は慎まなければなりません。自然を美しく撮影するには、ここにも優しくさや慈悲深さがないと表現できなと思います。なにが、仏教思想の教科書のようになってしまいました(笑)。

実はなぜ今このような話を書いたかという点、過日私としては長い写真生活の中で過去に一回しかチャレンジ経験のない「SL撮影」に行きた時のことです。もちろん写真撮影が目的ですが、適切なカメラやレンズ、その他必要機材を準備して撮影ポイントに向かいました。ベテランの方に指導を仰ぎ、撮影ポイントやマナーをお聞

きして「さあ、どこからでも、いらっしやい」と待ち受けました。さすがSL撮影に慣れた方々が、望遠レンズの砲列を走って行く。通過時刻に近づくと、遠くの方で汽笛が聞こえ、来るぞと緊張感が漂いました。と、その時近くのカメラマンから怒音が聞こえました。「どけよ！ジャマだろ！俺はアタより先に来たんだよ」「うんせーよ！ジャマしてねーだろ！」と小競り合いの前兆。少なくとも両者とも譲り合う気持ちなどさらさら無いという勢い。人のうちの田んぼの畦道で、さも自分の領地のような顔をして自分の正当性を主張しようとする滑稽さ。なんて品のない輩か写真撮りの風上にも置けない情けなさ。こんなことを書いている自分も同じ場所と同類と見られてもおかしくない状況である。

とたんに私はSLを撮ることに委縮してしまし、撮る意欲を消滅させてしまったのです。同行のベテランさん曰く、こんな光景は日常茶飯事です。大なり小なりいつも起こります、と。

Photo Books

山岳島 屋久島
秦 達夫 写真集

こんな話 あんな話 第十八話 写真の二二二

写真は奥深さや表現力からでも、いらっしやい」と待ち受けました。さすがSL撮影に慣れた方々が、望遠レンズの砲列を走って行く。通過時刻に近づくと、遠くの方で汽笛が聞こえ、来るぞと緊張感が漂いました。と、その時近くのカメラマンから怒音が聞こえました。「どけよ！ジャマだろ！俺はアタより先に来たんだよ」「うんせーよ！ジャマしてねーだろ！」と小競り合いの前兆。少なくとも両者とも譲り合う気持ちなどさらさら無いという勢い。人のうちの田んぼの畦道で、さも自分の領地のような顔をして自分の正当性を主張しようとする滑稽さ。なんて品のない輩か写真撮りの風上にも置けない情けなさ。こんなことを書いている自分も同じ場所と同類と見られてもおかしくない状況である。

とたんに私はSLを撮ることに委縮してしまし、撮る意欲を消滅させてしまったのです。同行のベテランさん曰く、こんな光景は日常茶飯事です。大なり小なりいつも起こります、と。

とたんに私はSLを撮ることに委縮してしまし、撮る意欲を消滅させてしまったのです。同行のベテランさん曰く、こんな光景は日常茶飯事です。大なり小なりいつも起こります、と。

編集後記

以前(一六号)に、青森県秋田県にまたがる「白神山地」全般の紹介を能代の小松さんにしていただきました。今回は日本海側の十二湖に限ってご紹介をお願いしました。交通の便も良く個人でも気軽に行けますので是非訪ねて神秘的な色彩を捉えていただきたい。

「こんな話・・・」シリーズは丸山副会長に軽妙なタッチで執筆いただいております。今回で十八回目になります。振り返ると写真をめぐる状況の変化の一端もつかがわれます。これまでシリーズのナンバーを省略してきましたが、今回(第十八話)から通しの番号をつけることにします。

3月のはじめ、雑誌「風景写真」編集部から、仙台でのワークショップへの参加を勧める文書が届いた。自分としても、フォトブックについては多少の興味をもっていたものの、まだ先の話だと考えていた。だが、「本格的な写真集を作る足がかりに・・・」という文句で気持ちが動いた。不幸にしていつの日にか、事故や病気で活動が出来なくなってしまうた

ら、頑張つて撮り溜めたフィルムやプリントも未整理のままではただのごみ扱いにされる運命であろう。少しでも作品集として残せるなら、幸いなことだと思つた。

仙台でのワークショップは3月16日だから、それまで「自分で選んだ2レプリントを100枚から200枚ほど用意してください」とのこと。母親の介護で忙しい日々だったので少々迷いもあつたが、思い切って申し

込んだ。当日は、6人の参加者に「風景写真」の石川編集長も加わり、写真選り、約六時間の行程だったが、楽しく瞬間の時間であった。選び終えた2レプリントを白地のブックに貼り付けて一冊にして

り、約六時間の行程だったが、楽しく瞬間の時間であった。選び終えた2レプリントを白地のブックに貼り付けて一冊にして

り、約六時間の行程だったが、楽しく瞬間の時間であった。選び終えた2レプリントを白地のブックに貼り付けて一冊にして

り、約六時間の行程だったが、楽しく瞬間の時間であった。選び終えた2レプリントを白地のブックに貼り付けて一冊にして

り、約六時間の行程だったが、楽しく瞬間の時間であった。選び終えた2レプリントを白地のブックに貼り付けて一冊にして

り、約六時間の行程だったが、楽しく瞬間の時間であった。選び終えた2レプリントを白地のブックに貼り付けて一冊にして

り、約六時間の行程だったが、楽しく瞬間の時間であった。選び終えた2レプリントを白地のブックに貼り付けて一冊にして

フォトブック体験記

ワークショップ体験記

佐々木 康照



実際に取り組んでみて思ったのは、写真集をめぐらすなら日頃からテーマ

を意識した撮り方を考えておくこと、大きい風景だけでなく小さなカットも撮っておくとまとめやすいことなどである。

今回のワークショップには、進藤さん、渡辺(善)さんも参加されていたので心強い思いであったが、「案ずるより産むが易し」とやら、自分としても意外と気楽にやれたと思

私は、せっかくまとめてみた機会なので、本番製作を注文した。値

ちをめぐらす状況の変化の一端もつかがわれます。これまでシリーズのナンバーを省略してきましたが、今回(第十八話)から通しの番号をつけることにします。

ちをめぐらす状況の変化の一端もつかがわれます。これまでシリーズのナンバーを省略してきましたが、今回(第十八話)から通しの番号をつけることにします。

3月のはじめ、雑誌「風景写真」編集部から、仙台でのワークショップへの参加を勧める文書が届いた。自分としても、フォトブックについては多少の興味をもっていたものの、まだ先の話だと考えていた。だが、「本格的な写真集を作る足がかりに・・・」という文句で気持ちが動いた。不幸にしていつの日にか、事故や病気で活動が出来なくなってしまうた

ら、頑張つて撮り溜めたフィルムやプリントも未整理のままではただのごみ扱いにされる運命であろう。少しでも作品集として残せるなら、幸いなことだと思つた。

仙台でのワークショップは3月16日だから、それまで「自分で選んだ2レプリントを100枚から200枚ほど用意してください」とのこと。母親の介護で忙しい日々だったので少々迷いもあつたが、思い切って申し

込んだ。当日は、6人の参加者に「風景写真」の石川編集長も加わり、写真選り、約六時間の行程だったが、楽しく瞬間の時間であった。選び終えた2レプリントを白地のブックに貼り付けて一冊にして

り、約六時間の行程だったが、楽しく瞬間の時間であった。選び終えた2レプリントを白地のブックに貼り付けて一冊にして

り、約六時間の行程だったが、楽しく瞬間の時間であった。選び終えた2レプリントを白地のブックに貼り付けて一冊にして

り、約六時間の行程だったが、楽しく瞬間の時間であった。選び終えた2レプリントを白地のブックに貼り付けて一冊にして

り、約六時間の行程だったが、楽しく瞬間の時間であった。選び終えた2レプリントを白地のブックに貼り付けて一冊にして

り、約六時間の行程だったが、楽しく瞬間の時間であった。選び終えた2レプリントを白地のブックに貼り付けて一冊にして

り、約六時間の行程だったが、楽しく瞬間の時間であった。選び終えた2レプリントを白地のブックに貼り付けて一冊にして